

# SOMPOホールディングスの介護事業 および認知症への取り組み

2018年4月13日



SOMPO ホールディングス

シニアマーケット事業部

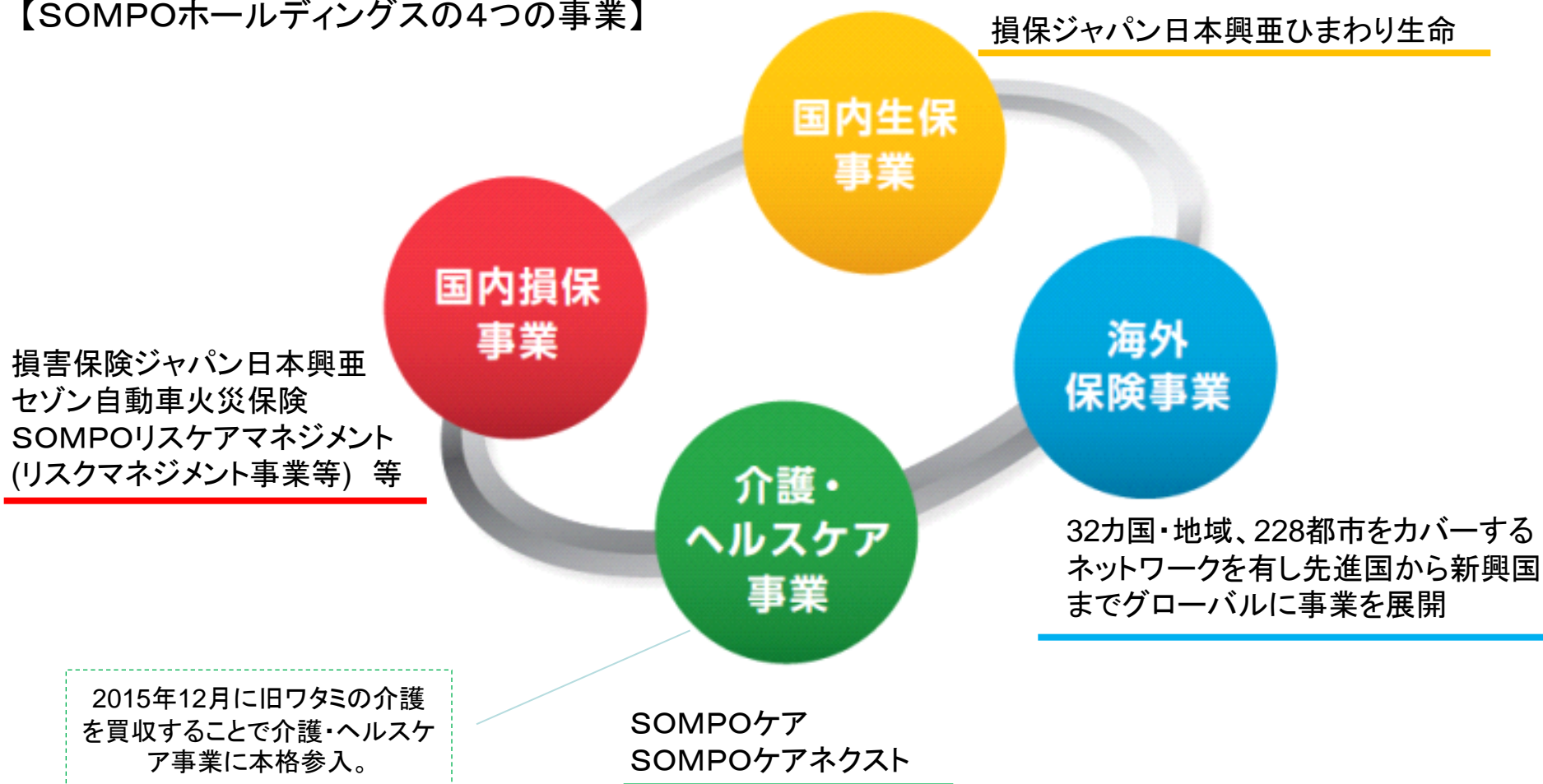
---

# SOMPOホールディングスの介護事業について

# SOMPOホールディングスの介護事業<1/2>

- 「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスの提供を通じた社会への貢献という経営理念のもと、国内損保事業を中核として主に4つの領域で事業を展開。

## 【SOMPOホールディングスの4つの事業】

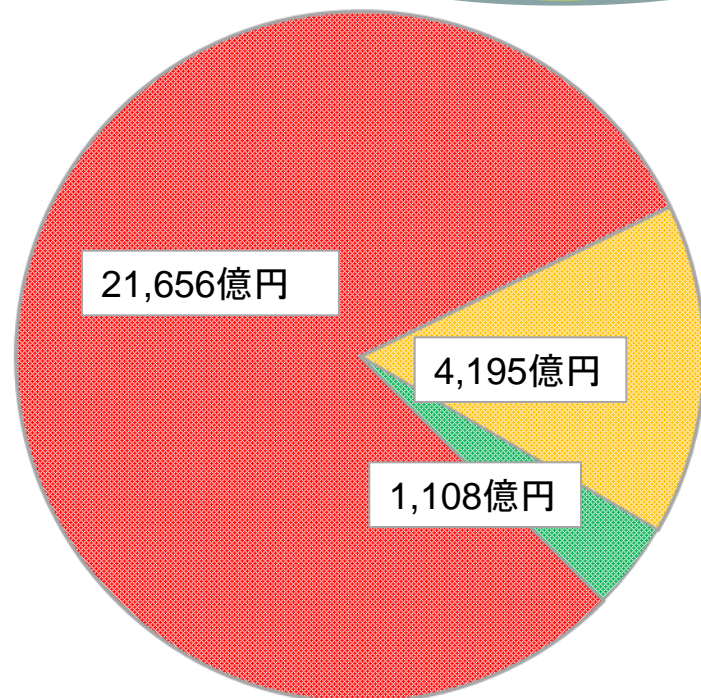


# SOMPOホールディングスの介護事業<1/2>

- 国内損保事業約1770万人(※)、生保事業370万人、介護事業8万人などSOMPOグループ合計で約2150万人のお客さまに商品・サービスを提供しており、その内、約630万人が高齢者。  
(※)自動車保険および傷害保険の個人契約のみカウント
- 2008年をピークに人口が減少し超高齢社会が更に進展する中、高齢者の「安全・安心・健康」に資する商品やサービス開発は重要な課題。

## SOMPO国内事業売上ポートフォリオ

- 国内損保事業 日本トップクラスの規模
- 生保事業
- 介護・ヘルスケア事業 日本トップクラスの規模





## SOMPOが抱える高齢顧客と課題

		国内損保事業	国内生保事業	介護・ヘルスケア事業
顧客数	全体	約1,770万人	約370万人	約8万人
	顧客 高齢	約560万人	約65万人	約8万人
課題	高齢者の「安心・安全・健康」に資する商品やサービス開発			
	高齡化による日常のリスク対策 例: 高齢者の運転寿命延伸	長生き リスク対策	需給 ギャップ	

## 参考：SOMPOホールディングスの介護事業<1/2>

- 在宅から施設介護まで、“フルラインアップ”の介護サービスの提供が可能。

	 SOMPOケア	 SOMPOケアネクスト	2社合算
<b>従業員数</b> (2016年度末 連結)	16,975名	7,235名	24,120名
<b>売上高</b> (2016年度 連結)	734億円	374億円	1,108億円
<b>シニアリビング 居室数</b>	約17,600室	約8,800室	約26,400室
<b>有料老人ホーム</b>	183施設	116施設	299施設
<b>サービス付き 高齢者向け住宅</b>	131棟	1棟	132棟
<b>在宅介護サービス等</b>	688事業所	6事業所	694事業所
<b>通所介護</b>	49事業所	13事業所	62事業所

注1) 展開状況については、2017年3月末現在

注2) 事業所数については、サービス種別 登録数(拠点数ではありません)

# 参考：SOMPOホールディングスの介護事業<2/2>～在宅老人ホームについて～

- 24時間365日の生活支援フルパッケージサービスを月額(定額)にて提供。
- これまでの有料老人ホームとの違いは移動距離と時間のみ。
- サービス提供エリアを拠点エリア(事業所)から1km、定員を50名に限定。

## サービス概要

### 訪問介護・看護(医療連携)

老人ホーム同等の介護サービス※を、**要介護5の方まで対応**。必要な方には医療連携もサポートします。  
※介護保険サービス(定期訪問・臨時対応型訪問介護看護サービス)利用

### 生活支援サービス

老人ホームと同等の家事支援サービスでおひとり暮らしもサポートします。

**要介護5でも独居でもこれなら、自宅に住める!**

**在宅老人ホーム**

### 緊急時対応

老人ホームと同様に、緊急通報システムで24時間365日、**緊急時にも対応**いたします。

緊急通報装置

### 食事提供・支援

老人ホーム同様、状態に合わせたお食事を**1日3食まで**提供可。必要な方には、**食事介助**も行ないます。

ソフト食・治療食等もOK

## 従来の老人ホームとの違い

### 従来の老人ホーム

サービス  
詰所

**訪問移動時間 1分**

スタッフが待機する詰所から各居室へ向かいます。

### 在宅老人ホーム

サービス  
事業所

**訪問移動時間 10分**

スタッフが事業所から各ご自宅へ訪問します。

# SOMPOホールディングスの高齢顧客分布(イメージ)

- SOMPOは全ての年代の高齢者と接点を保有している唯一の保険グループ
- 保険事業においては80歳以降の高齢顧客が激減する一方、介護・ヘルスケア事業の顧客は80歳以降の顧客が約90%を占める。

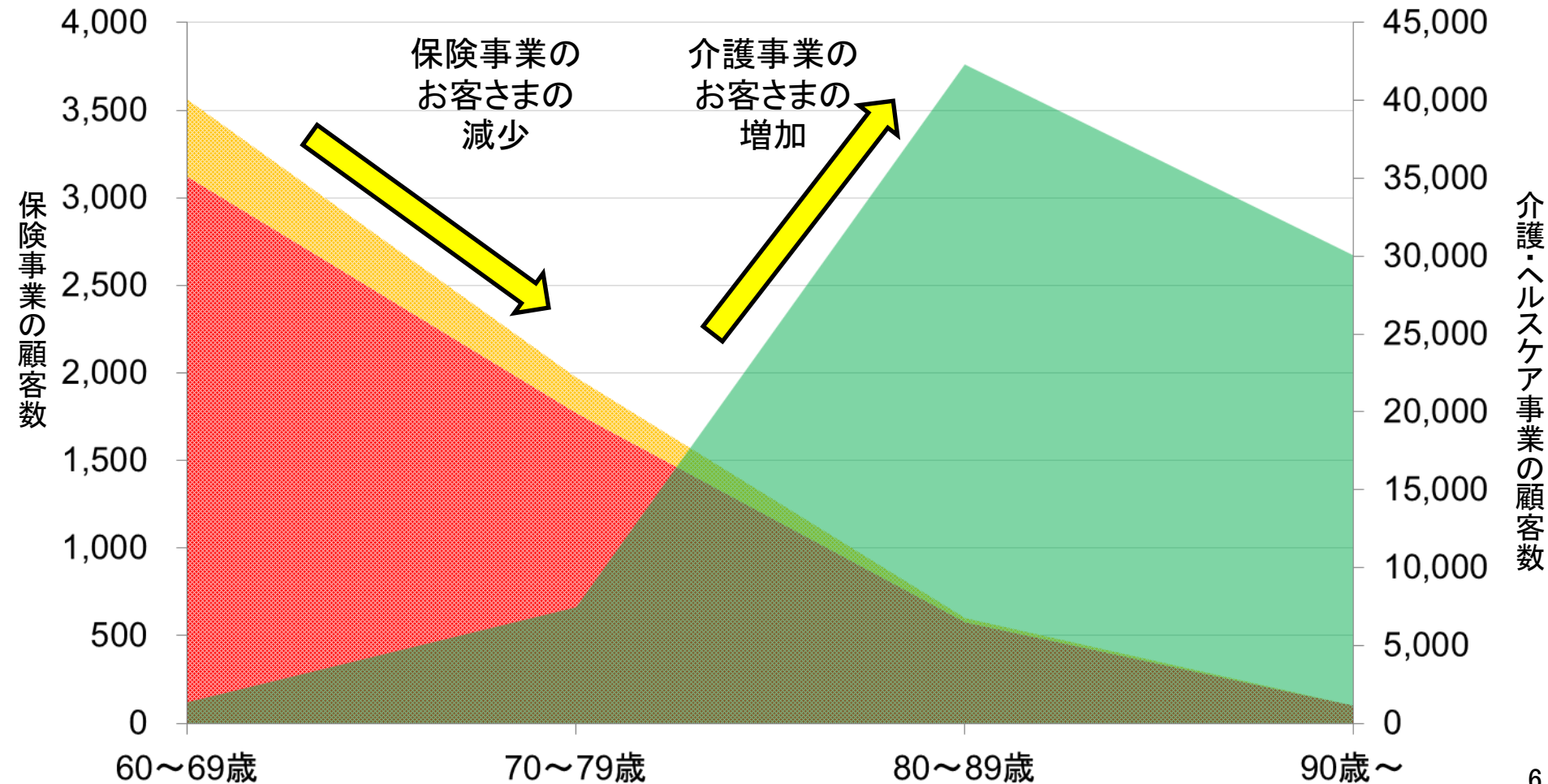
(単位:千人)

■ 損害保険事業

■ 生命保険事業

■ 介護・ヘルスケア事業

(単位:人)



## 保険事業における取組

## 介護事業における取組

### 商品・サービス

#### <損保ジャパン日本興亜>

- 高齢者向け傷害保険  
まも～るプラン「THEケガの保険」の販売
- 個人向け安全運転支援サービス『ドライビング!』の開発

#### <ひまわり生命>

- ご高齢のお客さま専用「保障内容のお知らせ」
- 介護一時金特約(要介護1以上で保険金が受け取れる特約)の販売

- アセスメント情報や介護記録の電子データ
- 『在宅老人ホーム』の推進
  - 24時間365日、老人ホームと同等のサービスを自宅にお届け
- ICT・デジタル技術の利活用
  - 排尿センサー等の最先端技術の導入
- ADL向上への取組み
  - 四半期ごとに握力や5m歩行などの体力測定を実施
- 食事の自社開発

### その他の取組

#### <損保ジャパン日本興亜>

- 地方自治体との『高齢者等の見守り支援に関する協定』の締結

#### <損保ジャパン日本興亜福祉財団>

- 認知症の人と家族の会への助成
- 介護福祉士人材育成に向けた奨学金

- 業界団体の役員選出
  - 全国介護付きホーム協会 副代表理事
  - サービス付き高齢者向け住宅協会 代表理事
- 『RUN伴』『みま～も』への協賛
- 認知症カフェの開設(2017年9月～)



---

## 認知症への取り組みについて

# SOMPOグループが認知症に取り組む背景と目的

保険事業と介護事業を持つグループとして、認知症の社会的課題の大きさを実感、  
2017年7月からグループ横断で取り組みを開始

## 背景

- 高齢者、特に75歳以上の高齢者が増加
- 社会保障費の増大
- MCI<sup>(※)</sup>含む認知症高齢者の増加
- 社会的課題のさらなる増加
  - 高齢ドライバーによる高速道路の逆走
  - 認知症高齢者の行方不明
- 介護人材の需給ギャップ

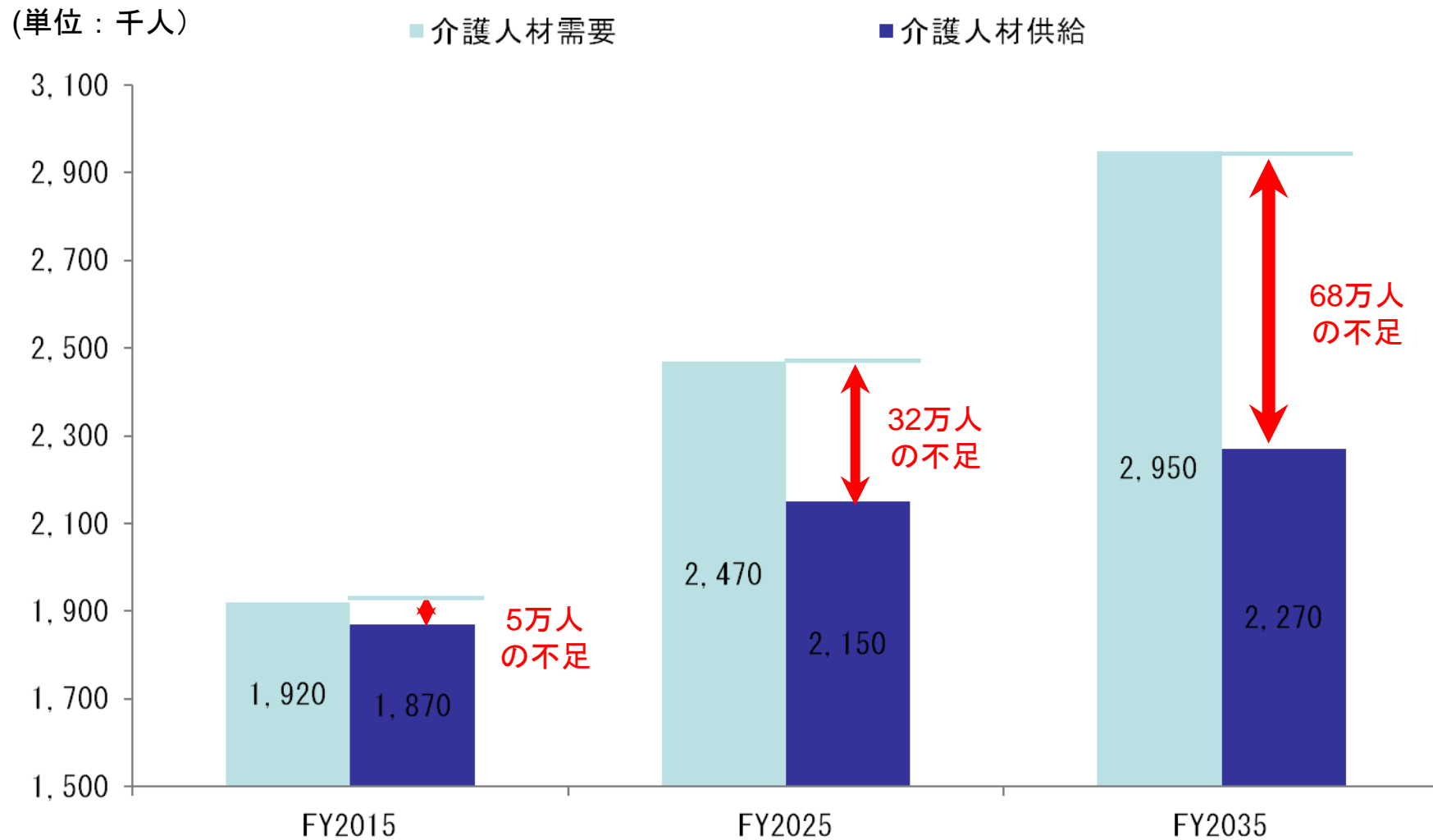
## 取組

- 以下のような取り組みを通じたCreating Shared Valueの実現
  - ①効率的かつ適切な方法によるMCIリスク早期発見の機会提供
  - ②認知機能低下予防サービスの提供
  - ③認知症の方に対する適切な認知症ケアの実現(認知症に対する差別・偏見のない社会の実現)

※Mild Cognitive Impairment: 軽度認知障害

# 介護人材需給ギャップ

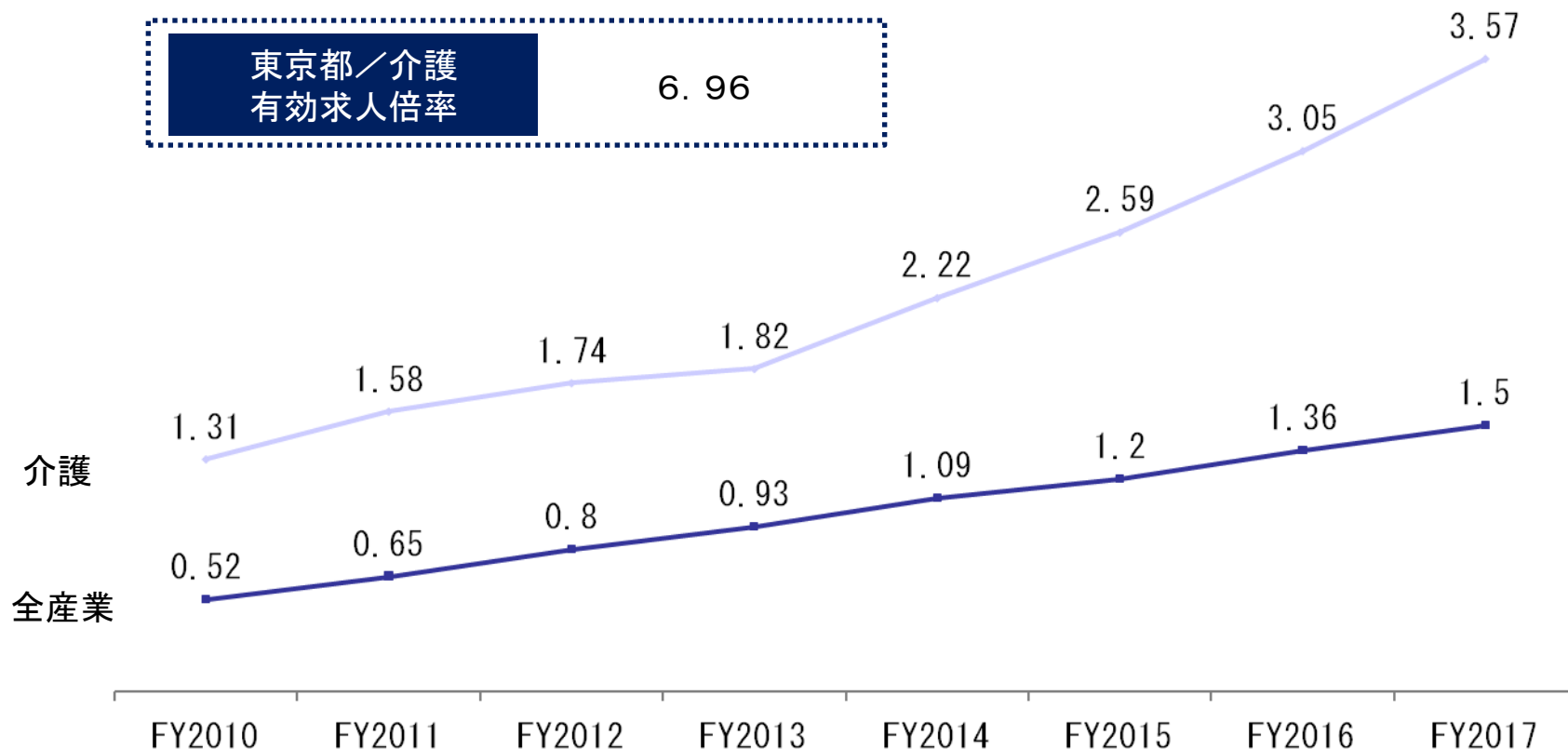
- 今後介護人材の不足が深刻化し、介護難民が出る恐れ



# 介護領域における有効求人倍率

- 足元で既に人材不足が顕在化

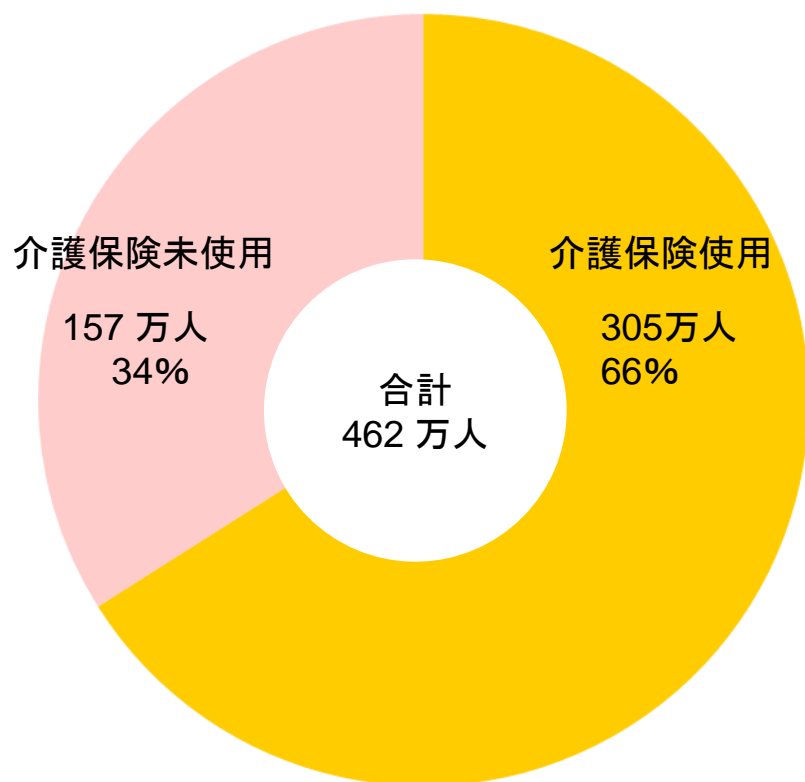
有効求人倍率の推移(2010-2017)



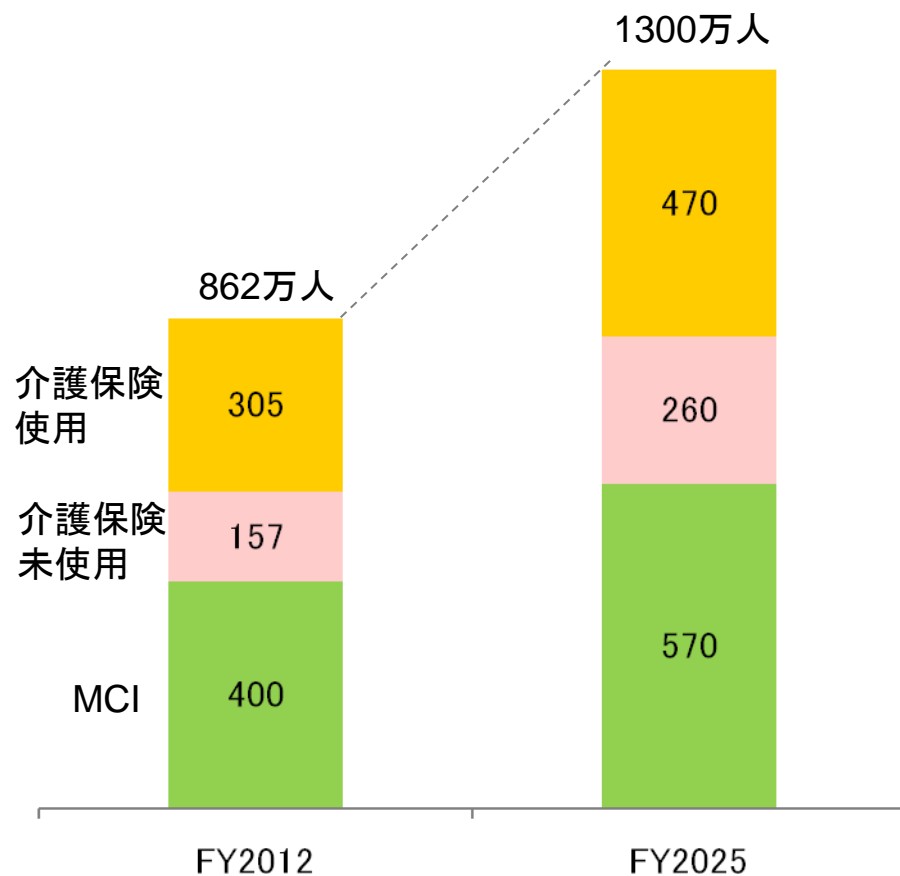
# 日本における認知症高齢者の状況

- 介護需要の増加の多くは認知症高齢者の増加によってもたらされる

認知症高齢者の介護保険使用状況(2012年)



認知症高齢者将来推計



## ●国立長寿医療研究センターとの包括連携協定(9月22日)



- ✓ 認知症をはじめとした高齢者の健康増進に関するさまざまな研究等を行うことで、高齢者の心と体の自立を促進し、健康長寿社会の実現へ貢献することを目的とした包括連携協定を締結。
- ✓ 第一弾の共同研究テーマは損保事業における「高齢運転者の認知機能と事故発生の相関分析」の予定。

## ●損保ジャパン日本興亜本社ビルのライトアップ(9月21日)



- ✓ 9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせ、日本の認知症啓発・支援のテーマカラーであるオレンジ色に本社ビルをライトアップ。
- ✓ 「認知症の人と家族の会」が全国の城・タワー等でのライトアップを促進。同会が把握されている限りでは、東京都では当社ビルが初。

### ●認知症を考えるイベントの開催(9月24日)



- ✓ 「共に生きる 認知症を考えるセミナー」を実施し、約270名が参加。認知症の人と家族の会の中川様(三重県支部代表)、国立長寿医療研究センターの島田先生がご登壇。
- ✓ また、開催にご協力いただいた公益社団法人認知症の人と家族の会の鈴木代表もご出席。

### ●オレンジカフェの開設(9月以降)

- ✓ 杉並区阿佐谷に、認知症カフェ「SOMPOケアオレンジカフェ」を開設。月2回、認知症に関する講座やイベント等と、座談を行っている。
- ✓ 参加者は、認知症の方のご家族、認知症に興味のあるご高齢者の方など。

### ●RUN伴への協賛と協力(7月以降～)

- ✓ NPO法人認知症フレンドシップクラブが主催する「認知症になっても安心して暮らせる地域」づくりを目指した、みんなでタスキをつなぎ、日本を横断するプロジェクトに協賛・協力。
- ✓ RUN伴公式Tシャツを着用し、当社グループからも全国の多くの役職員が参加。